



作並・回文の里 タイムス

【編集・発行】
仙台・作並回文の里づくり実行委員会
〒989-3431
仙台市青葉区作並字相ノ沢27
JR作並駅内宮城地区観光案内所内
電話 022-395-2052
発行者：委員長 森谷 寛
編集：事務局 佐藤照彦 相沢良雄

【自由題の部】

●最優秀賞

ナデシコの花世界一 清く咲く 良き地位生かせ 名は残してな

【課題の部】

●最優秀賞

泣いた家族 癒えた絆 頑き耐え行くぞ 固いな

第14回日本ことば遊び回文コンテスト・交流大会
入賞作品決まる
自由題の部、課題の部とも最優秀賞に小池政光さん(千葉県会社員)が輝く

上の2作品は、いずれも千葉県在住の会社員小池政光さんの作です。

自由題の部最優秀作品は、昨年11月1日～12月31日までに郵送により応募された751点と今年2月25日～26日にかけて湯づくし Saion Hotel 一の坊(宮城県仙台市作並温泉)で行われた交流大会自由題の部に出品された24点を合わせた775点の頂点。予備審査、第1次審査、第2次審査を抜け出て交流大会当日の最終審査での得票は次点を8点オーバーする73点とダントツ。昨年3月の東日本大震災で日本中を沈みがちな空気が覆い尽くしていた中、女子サッカーワールドカップで華々しい活躍を見せた「なでしこジャパン」を題材に、見事にまとめた逸品。そして、課題の部(課題は、「絆」「心」「景色」)の最優秀作品は25日夜の一夜漬けの作品でしたが、大震災で尊い生命と財



賞品を受ける小池さん

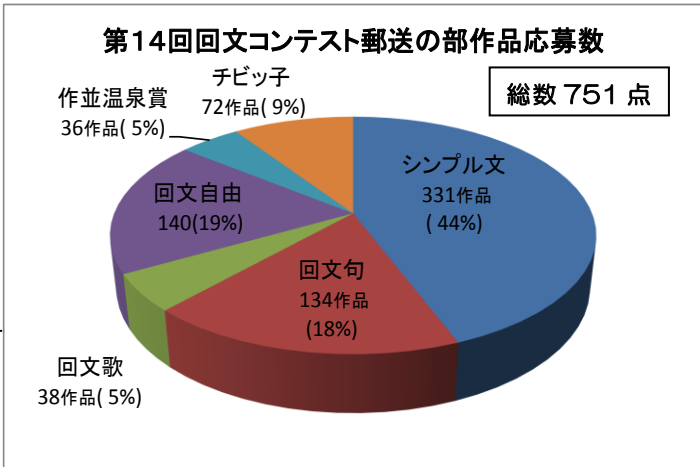
産が失われ、どん底の生活が続く中、「固い絆」のもとに再建に向けて頑張る決意を固めて生きようとする状況を詠んだ短文の秀作。ここでも次点を8点引き離しての堂々の最優秀でした。小池さんは、このほか回文歌の部で優勝賞、回文自由の部で佳作を獲得するなど、正に独壇場の成績を収めました。小池さんが交流大会に参加したのは久しぶりのことでしたが、満面に笑みを湛えて帰路につかれました。

●作並温泉賞 回文の里ホームページ <http://kaibun.sakunami-spa.com/>

宿りては、今母と目覚め湯の憩い。風変わるたびに湯の香舞い、
樹々から霞かかる。母と浸る湯も作並。春はみな草萌ゆる。
旅とは遙かか…？ 自らが聞き、今かの湯に浸る。
我が世界、恋の夢醒め、永遠は舞い果てりや。

一方、今回の作並温泉賞に輝いたのは、横浜市緑区在住の主婦佐藤恭子さん。この作品は、作並温泉賞が創設された第2回コンテスト以来、初めてのや

や長文の力作で、母と娘が草萌える春の湯の香を感じながらゆったりと温泉に浸って情景が思い浮かぶ作品でした。そのほか、作並温泉賞の最優秀賞を受賞した作品は、回文の里ホームページに掲載されたほか、14回日本ことば遊びコンテスト(2面)



(1面から続く)
 選作品・応募作品集」で紹介しています。
 今回の第14回日本ことば遊び回文コンテスト・交流大会「郵送の部」には、北は北海道、南は沖縄県まで全国各地から昨年より494点多い751点の作品の応募がありました。各部門への応募の状況は、シンプル文の部331

点、句の部134点、歌の部38点、自由の部140点、作並温泉賞の部36点、チビッ子の部72点で、合計268人からの応募でした。
 応募作品は、1月15日の予備審査で各部門50作品程度(チビッ子の部は30作品)絞り込まれました。次に2月25日、26日交流大会参加者と実行委員会委員による第1次審査で、各部門20作品程度(チビッ子の部は10作品)に選考されたものが、2月25日午前中に行われた専門審査員6名による第2次審査で、専門審査員と交流大会参加者などが行う最終審査に回される各部門5作品が厳選されました。そして、最終審査で最後に残ったのが、回文の里ホームページに掲載の入賞作品です。

今回は、地元作並小学校以外に仙台市立大和小学校、愛知県春日井市立西部中学校からの応募が特に目を引きました。

第5回文かるた大会開催

1月28日(土)に第5回文かるた大会を落合市民センターで開催しました。

大会には小学生9名と一般成人が13名合計22名が参加しました。試合は小学生低学年の部と高学年の部、一般成人の部に分かれ、4回戦行いました。結果は次のとおりでした。

【低学年(小学3年生以下)】

- 優勝 早坂 瑞稀 110枚
- 2位 森山 小雪 92枚
- 3位 伊藤 しの 89枚

【高学年(小学4年生以上)】

- 優勝 早坂 花音 111枚
- 2位 瀬上 翔平 103枚
- 3位 荒井里紗子 91枚

【一般成人】

- 優勝 佐藤 美岐 137枚
- 2位 瀬上 明子 136枚
- 3位 今野 友明 118枚



これは、わたしのものよ!

'12の交流大会はドリームマッチに沸きました

2月25日、26日に湯づくし Salon ホテルの坊(作並温泉)で行われた交流大会で、参加者を6つのチームに分けて、合作の回文の出来具合を競い合うイベントに沸きました。専門審査員の協議で出題されたのは「浴衣」。この題を入れて夢の組み合わせのチームで回文づくりをするのがドリームマッチ。チームは腕前が名人クラスと初級・中級クラスの混成チーム。

この夢のワークショップからは、あつという間にできあがる名人クラスの回文の作り方に驚かされたり、感心したりという様子がかがえしました。このこともあり、夜の交流会は大盛り上がりとなりました。



アイデアを出し合うチビッコグループ

【作品とチーム名は次のとおり。】

- ・祭り時 出たか浴衣で 気取り妻 チーム並みの作
- ・かじか鳴き たか湯で浴衣 着流しか 夢見る淑女と紳士たち
- ・夜祭を： 彼の浴衣出たか？湯の香り、妻よ。 若年寄りチーム
- ・眺め、浴衣着て 姿が素敵だが、夢かな 私名無したわ
- ・デイト日を浴衣ツアー 湯し湯しあったか湯 東日本チーム
- ・着たか？ 浴衣着 チビッコグループ